

## 県民意見募集実施結果

鳥取県立図書館では、「鳥取県立図書館の目指す図書館像（案）」を公表し、県民の皆様からのご意見を募集したところ、次のとおり多数の貴重なご意見をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。ご意見に対する当館の考え方とともにご紹介いたします。

なお、取りまとめの都合上、お寄せいただいたご意見は適宜集約したものとしています。

実施期間 平成18年2月10日～2月28日

件数 8人（個人）19件

### 全体に対するご意見

ご意見	当館の考え方
県立図書館がこのようにマニフェストを公表されるのはすばらしい。とてもわかりやすい。期待している。（郵便55歳男性）	この図書館像を実現し、県民の皆様には様々な場面で図書館を身近に使っていただきたいと思っています。また、県内の図書館と協力して鳥取県の図書館づくりを進めたいと考えています。
しっかりした内容の盛り込まれた像であり、志の高さを感じる。その理想は実現できると確信する。県立図書館としての使命感と職責を自信を持って果たしていただきたい。（メール44歳男性）	
県立の図書館像だが、市町村を通じても参考になり、「鳥取県全体の図書館像」としてもみることができる。（メール44歳男性）	現代社会はきわめて複雑・多様化しており、近年、情報の拠点としての図書館を必要としている人が増加しています。こうした県民ニーズに応えるため、図書館像に掲げている施策にしっかりと取り組むべきと考えています。なお、個別の事業については、予算編成過程等でしっかり審議していただけると考えています。
総花的。ここまで図書館が手を広げる必要があるか。これらを実現するのに、どのくらい税金が使われようとしているかわからないのが不安。「県立図書館にしかできないこと」に絞って、そこにリソースを集中したほうがいい。（メール）	
周辺事業は削減して、その分開館時間を午後9時くらいまで延ばしたり、休館日を減らす方が利用者の利益になる。（メール）	
(注)の用語説明を事典などの引用ではなく、自分の言葉で。（メール）	一般的に用語説明は個人の考えではなく、文献に解説されている内容にすべきものと考えます。

## それぞれの「柱」に対するご意見

### 1 人づくりを支える図書館

ご意見	当館の考え方
高齢者向けの朗読会、お話を開いてほしい。 (郵便)	各種団体やボランティアの協力等で実現したいと思います。
生涯学習のひとつとして、図書についての感想・感動・意見等を語り合う機会を提供してほしい。 (郵便46歳女性)	身近な図書館での読書会ができるよう市町村図書館にも働きかけたいと思います。
少子化社会の今、子どもの質の向上、豊かな人間性を育むため、知を育てることが大事。ソフト面の活動と充実を望む。 (ファクシミリ83歳男性)	ご指摘のとおり、知を大切にする地域づくりを図書館が核となって進めたいと思っています。

### 2 情報拠点としての図書館

ご意見	当館の考え方
高度情報化社会の中で、情報の選択と集中の視点から、学校などでの情報教育(メディア・リテラシー)に力を入れてほしい。 (メール)	ご指摘のとおり、情報教育は重要であり、県立図書館としても学校に協力していきたいと考えています。
鳥取市民と日南町民が全く同じサービスが受けられると本気で考えているか。 (メール)	地理上鳥取市に位置する県立図書館としては、地域格差を少しでもなくすよう努力するのは当然の義務であると考えています。
「県民の必要とする情報」とはどういう情報で、どう「整理・加工」するのか。利用者が自らの必要に応じてやることではないか。 (メール)	利用者が求める情報に的確かつ迅速に応える体制を整えておくことが、図書館の任務であると考えます。
倉吉・米子市立図書館への分類ごとの出前貸出図書を書架に並べてほしい。(メール男性)	現在セミナーやイベント等の機会をとらえ、各種テーマの図書を市町村立図書館等に並べて貸し出し、利用していただいております。これからも市町村立図書館と連携していきたいと思っておりますので、是非ご利用ください。

### 3 仕事と暮らしに役立つ図書館

ご意見	当館の考え方
市民参画のための地方自治行財政資料について、住民が理解できるような機会を提供してほしい。 (メール男性)	行財政や暮らしに役立つ法律等の情報について、講習会、相談会等を県内各地で市町村図書館と協力して行うよう計画をしています。

### 4 地域文化を大切にする図書館

ご意見	当館の考え方
環日本海交流は、民間の交流団体に任せではどうか。どこの国にどれだけの税金を投入するのか、県民が納得できる理由があるか。国際交流をやるからには、図書館の本来業務の質的な向上といった具体的な結果を県民に還元してほしい。 (メール)	環日本海交流は県の重要な政策です。県立図書館は対象諸国の現状・文化理解、情報提供の場として環日本海交流室を設置し、サービスを行っています。そこでは、講座・講演会等の開催のほかに県内小学校に出かけて環日本海諸国の翻訳した絵本の読み聞かせを行うなど、生徒、教職員にも大変好評を博しています。

## 5 図書館のための図書館

ご意見	当館の考え方
<p>市町村図書館の指導と情報提供 ブックスタート開始後の実行の確認と継続の指導 子どもの教育に理解と熱意のある図書館長の任用と司書の登用</p> <p>学校での朝読書で読んだものについての対話・討論・発表の場 児童専門図書館の設置（既存施設の利用でも）（ファクシミリ83歳男性）</p>	<p>ブックスタートが継続・発展するよう市町村に働きかけていきます。</p> <p>県内図書館に巡回相談を定期的に行うと共に、図書館職員の知識・技量向上のために計画的に研修を実施して、図書館のレベルアップを今後も図ります。各学校でそのような取り組みがされるものと思います。</p> <p>市町村で考えられることですが、まずは既存の図書館での児童部門の充実が先決であると考えます。</p>
<p>県の中部・西部の県民への貸出冊数の限度拡大をしてほしい（メール男性）</p>	<p>県立図書館の図書を市町村立図書館を通じて貸出を受けられる場合は、それぞれの図書館の規定で利用していただくこととしております。</p>

## 6 県民サービスを創造する図書館

ご意見	当館の考え方
<p>事業についての合理的な説明、達成度を測る基準（数値目標）を示してほしい。（メール）</p>	<p>来年度、この図書館像を具体的に実践するためのアクションプラン（行動計画）を作成することとしています。</p>
<p>図書館の行事を誌報？のわかりやすい区画で知らせてほしい。（郵便）</p>	<p>県政だより等の広報に努めます。そのほか新聞や当館のホームページ及びメールマガジン等でお知らせします。</p>